

『経営に役立つヒント』

令和八年三月一日

第二百七十四号

二月の総選挙で、自民党が歴史的大勝を果たし、単独で衆議院の三分の二を上回る得票数を得ることになりました。これは決して僥倖や時の勢いではありません。

待ちに待って、ようやく、まともな、自国を愛する政治家・高市早苗が総理の席に座ったということです。安倍晋三が、彼だけは絶対に総理にしてはならないと言った、最低・最悪の石破が、直前の総理であった反動でもあります。中でも、若い世代の支持が圧倒的であったことは、日本の未来の明るさを予感させるものです。

敗戦の混乱時に進駐軍が「大和魂を持つ、この強い日本人を二度と米国に齒向かわせない為」に作った憲法を、八十年後生大事に守って来たのですが、ようやく、我々日本人自身が自主憲法を創る機会が来ました。日本人として誇りと自信を持てる、世界に冠たる日本の使命と役割を示すことが出来る憲法を創ることが急務です。

米国の属国のような立場から脱却し、お互い対等で支え合い、更に発展する関係にしなければなりません。

例えば「会計基準」一つをとっても、米国にのみ有利な株主・投資家のための物に巧妙に変更され続けて来ました。その為に日本の国益は大きく毀損してきたのです。日本には日本の慣習ややり方があるのに、残念ながら今までは米国の言いなりでした。

私法上の会社経営でさえ、「経営理念」が重要なのです。まして、国の最高規範である憲法を日本人自身が作っていなかったのですから、何をか言わんやです。

ただし、憲法改定、否、新憲法策定には、国民の合意が必要です。マスコミ・反日日本人たちの大変な反対運動や、隣国からの嫌がらせが予想されます。

幸いなことに、高市早苗という救国の代議士が、国民の圧倒的支持を得ています。心ある、我々中小企業の社長が、全面的に高市早苗総理を支えて参りましょう。

かつて、松下幸之助が、「文明の中心は地球上、西へ西へと移動している」と言いましたが、まさにその通りになります。（間違っても今の独裁国中共ではありません）

時代は、米国から日本に、その中心を変えつつあります。

なぜなら、価値観が大きく変わるからです。マネー中心・権力中心・システム中心から、人を大切にする社会・文化・歴史・伝統・慣習を大切にする社会・思いやり・助け合い・弱者を大切にする社会へと変わるのです。

本当に素晴らしい、未来に希望の持てる日本が再生します。その歴史的瞬間を、我々はこの目で見る事が出来るのです。やっと戦没者の皆さんにも顔向けできます。

我々、中小企業の社長が、日々の仕事に誠実に向き合い、社員さんに夢を語り、コツコツと声掛けして来たからこそ実現するものです。こんな嬉しい事はありません。

今月のポイント

新しい日本が誕生するのです。

祝杯を挙げましょう。

